

様式1

学校教育目標	自他を尊重し 主体的に学び続ける子どもの育成～ 社会に出て通じる力を、これからの社会に必要とされる力を～		
--------	--	--	--

ミッション	組織的な学校経営と小中連携による教育内容の充実	a ビジョン	(1) 自他を尊重し、これからの社会をよりよく生きるための能力を身に付けさせる。 (2) 保護者・地域から信頼される学校になる。 (3) 教職員の総力を挙げた組織的で機能的な教育活動の推進を図る。
-------	-------------------------	--------	--

尾道市立因北小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
主体性・表現力	自他を尊重し、よりよいものを求め考えを表現する児童を育てる。	他人の意見をよく聞き、自分の考えを持ち、それを自分のことばで伝える事ができる児童を育てる。	<p>どんな場面でも、誰に対してもはっきりと聞こえる声で挨拶や返事をさせる。できるまでやらせ切る。</p> <p>「3つの宝」を徹底するために、児童会、委員会を活用した取り組みを行う。</p> <p>授業や特別活動等において、他学級、他学年、学校外等、表現する場を積極的に設定する。</p>	100%	/	/	/	/	<p>全校集会に代わり、7月より放送集会を実施した。放送を通して聞いた話をもとに、自分の考えを表現できる児童が増えてきた。今後は個々の児童の発表をクラス全体へどうつなげていくか、また、発表の内容・質の向上等を目指して取り組んでいく。</p>	○			<p>・放送朝会を通して、個々の発言の場を設けた取組は良いと思う。</p> <p>・あいさつ、はきもの、掃除について、家庭との連携がもっと必要なのではないかと思う。</p> <p>・重点として「あいさつ」に取り組んでいることはよいことである。先生にあいさつをするのはできているかもしれないが、友達にあいさつができるようになってほしい。そこからコミュニケーションが始まっていくと思う。</p> <p>・子供が安心できる学級づくり、人間関係づくりをしてもらいたい。そのためには、何が課題であるか、何に困っているかを、しっかりと実態把握することが大事である。そのために、この1年ががんばる目標、「3つの宝」のように継続的にがんばって磨きをかける目標があると思う。</p> <p>・すでにされているとは思いますが、子供達の実情（実態）の背景（原因）の把握が大事だと思います。そこから方策を考えることができると思う。</p>	<p>・放送朝会等の表現する場、授業における表現する場等、児童が表現できる機会を積極的に設定する。</p> <p>・「3つの宝」を重点的に、徹底して指導する。</p> <p>・学校としての課題（挨拶ができない等）を児童自身に気づかせ、自分事の課題にさせる。児童会を中心とした高学年児童には、課題を克服するためにはどうするかを考えさせ、児童自身が取組を考え実行させるようにする。</p>
	主体的に学び続ける児童を育てる。	「課題発見・解決学習」の充実により、課題意識を持ってすすんで学び合う児童を育てる。	<p>学習や特別活動を主体的に行えるように課題意識を持たせる工夫をする。</p> <p>学んだことが自覚できるように、自己の学びを振り返らせる。</p> <p>自分の命や体は自分で守る指導を充実させる。</p>	<p>【教務部】自分の考えを全校朝会・集会・表彰式等の場で相手に伝えることができる場の設定</p> <p>【生徒指導部】はっきりと聞こえる声で挨拶や返事をしようとしている児童</p> <p>学校全体や学級の活動の中で、3つの宝を意識して行動しようとしている児童</p>	90%	71%	78.8	C	<p>あいさつは毎月あいさつ週間で取り組むことで、気持ちのよいあいさつを広げていく。</p> <p>その他の3つの宝は、まだ充分に取り組んでいなかったため、7月は68%と達成度の低かった「はきものそろえ」に取組み、今後は学期1回「はきものそろえ」「無言協力掃除」の取組を行っている。</p>	○			<p>・休業期間が長かった中、様々な工夫で取り組まれている様子がわかりました。</p> <p>・教育目標の「自他を尊重し」に関わって、下級生が上級生に呼び捨てなど失礼な態度をとったり、子供が先生に友達感覚で話したりすることがある。この部分を意識して、研究で行っている「道徳」につなげていくとよいのではないかな。</p> <p>・外遊びが少ない状況が気になりました。</p> <p>・校内のコロナ対策を意識し、よく取り組んでいる。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の防止に係り、できないことが多くなっているが、できることは工夫をしながら実施してほしい。</p>	<p>・各学年で目指す表現力のついた姿をイメージし、授業において思考したことを表現する場面を効果的に設定する。イメージに届かない場合は、どうやれば克服できるかを考え、試行錯誤しながら指導を行う。</p> <p>・児童が言いたくなる場面、誰かに伝えたいと思う場面を設定することで、主体性をもたせる。</p> <p>・話し方の型を児童の手元に置かせることで、表現の仕方を学ばせる。また、表現する場面を積極的に設定することで表現する経験を積み、自信を持たせる。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策を引き続き行うとともに、できにくいことが多い中で、どうやったらできるかという視点で考える。</p> <p>・体力テストの重点課題について、担任及び児童に課題意識を持たせる。課題克服のための理論研修、サーキットの改善に取り組む。</p>
			<p>【研究部】授業では、自分の考えとその理由を明らかにして相手に分かりやすく伝えるように発表の工夫をしている児童85%</p> <p>【研究部】授業では解決しようとする課題について「なぜだろう」「やってみよう」と思っている児童90%</p> <p>【研究部】本校の振り返りの視点にそって自己の学びを振り返っている児童90%</p> <p>【保体部】1回目の体力テストの課題から、体育の授業やがんばりカードで取り組みを行い、再測定時に平均値を上回る児童</p>	90%	72%	80	C	<p>【達成度】授業では、自分の考えとその理由を明らかにして相手に分かりやすく伝えるように発表の工夫をしている児童(67%)</p> <p>授業では解決しようとする課題について「なぜだろう」「やってみよう」と思っている児童(69%)</p> <p>本校の振り返りの視点にそって自己の学びを振り返っている児童(79%)</p> <p>「上3つの平均72%」</p> <p>学びの変革に向けて課題意識と表現力について研修や交流を行ったが目標値にはとどかなかった。2学期からも引き続き研修などを続け、改善していく。</p> <p>昨年度の重点課題である50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げを実施し、特に50m走とソフトボール投げにほとんどの学年で県平均未満となった。休憩時間・授業・家庭で課題意識をもたせ、改善していく。</p>	○					

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。